

生徒指導だより「こころ」

平成28年10月14日(金)

NO. 10 文責 堀 晴昭

自転車の乗り方

よく「車は走る凶器」などの言い方をしますが、生徒たちが毎日登下校で乗っている自転車も歩行者からするととても危ない乗り物です。先日、山鹿警察署の交通課長さんからの話を聞く機会がありました。自転車が歩行者をはねて、ケガを負わせたり、死亡させたりして賠償命令が出ている事例がいくつかあるということでした。紹介します。



- 事例①小5が60代の方を自転車ではねて、9250万円の賠償命令
- 事例②中学生が74歳の方を自転車ではねて、1614万円の賠償命令
- 事例③中学生が無灯火ではねて死亡させ、3000万円の賠償命令
- 事例④中学生が無灯火で電柱をよけた際、歩行者をはねて3210万円の賠償命令

鶴城中校区は、お年寄りの方も多く、また坂道がありスピードも出やすいので、いつ上記のような事故が起こるか分かりません。時間にゆとりをもち、交通ルールを守った安全運転をするように指導していますが、学校外はなかなか目が行き届きません。危険な乗り方をしているのを見かけられましたら、指導していただくか、学校へ連絡をいただけるとありがたいです。ルールを守れない生徒や危険な運転をする生徒は自転車通学を一時停止させていただきます。最近も一つありました。

逆に、自転車が車と接触(自転車側が被害のケース)したときの注意点の話も聞いております。お知らせしておきます。

車が自転車をはねた場合、車を運転していた者は車から降りてきて「大丈夫ね?」と声をかけてくるそうです。そのとき自転車を運転していた者の多くは、「大丈夫です。」と言ってしまいます。

(緊張で痛みを感じていないため)それを聞いたドライバーは安心してその場を立ち去ってしまい、後で病院へ行ったら大けがだったのだが、相手が誰だったか分からないということになってしまうので、「大丈夫ね?」と聞かれたら、「分かりません。」と言うか警察に連絡してほしいということでした。絶対「大丈夫です。」と言ってはダメということでした。車を運転する側は、不用意に立ち去るとひき逃げになり、罰せられるそうです。



※自転車は加害者にも被害者にもなり得るということです。

交通事故件数

みなさんは毎日どれくらいの交通事故や死者が出ているか知っていますか。実は下記の通りです。

日本全国で1日に起こる平均交通事故件数・・・1800件
日本全国で1日に一番多かった交通死亡事故人数・・・25人
日本全国で1日に一番少なかった交通死亡事故人数・・・2人

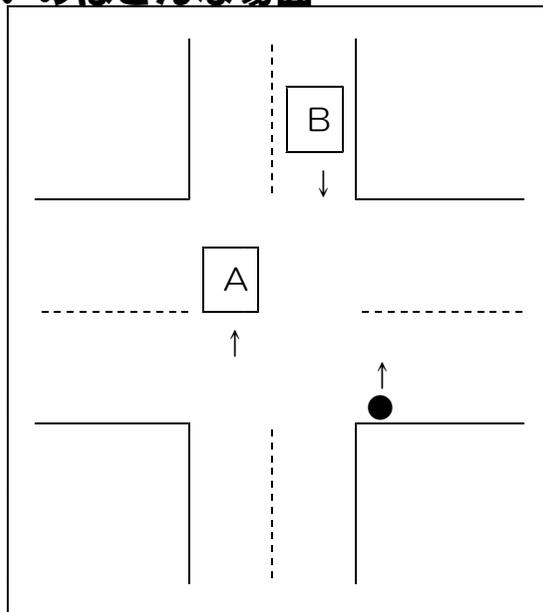
今まで死亡事故が起きなかった日は、たった一日もないそうです。必ず日本全国のどこかで交通死亡事故が起きているのが現実です。私には関係ないということはないのです。いつ自分の番が来るのか分かりません。これを機会に「命」「家族」「これからの人生」というものを考え、ハンドルを握ってもらいたいと思っています。(自転車も車も)



事故が一番起こりやすいのはこんな場面

山鹿署の交通課長さんから聞いた話なのですが、事故が起こりやすい場面があるそうです。生徒や保護者の方々にもお知らせしたく記事にしております。

あなたは、Aの車を運転して下から上に走っており、交差点で右折待ちをしております。なかなか対向車の列が切れずに少しイライラしています。やっと列がとぎれます。Bの車がいった後がチャンスです。あなたは「今だ!」と右へハンドルを切り、右折するのではないのでしょうか?その時です。実は、●印の自転車が渡っていて、はねてしまうのだそうです。とにかく自動車というのは、右側が盲点だそうで、車のライトは対向車がまぶしくないようあまり右側を照らさないようにもしてあるそうです。そもそも自転車が、右側を通行していることも事故の原因です。



※確認ですが、本校生徒は徒歩通学生も自転車通学生も「タスキ」着用になっています。守れていない生徒が数名います。ご家庭でも確認をお願いします。